

今回の全校集会は、私の話が続いて修学旅行の報告をするということで、ここ2年8組からライブ配信しています。ということで、私の話も、まずは修学旅行から始めます。本校は、2021年と22年はコロナのために修学旅行が中止されました。復活して3年目ということになりますが、私が同行したのは今回が初めてです。出発前に行われた集会で、清水寺のおみくじはなかなか大吉が出ないという話をしたのですが、清水寺に行った生徒からは「大吉だった」とか、「班員みんな凶だった」などと話しかけてくれる人がたくさんいました。

班別研修の日、私は知恩院の北にある青蓮院門跡という寺院に出かけました。そこは、比叡山延暦寺の僧侶の住居として、最澄や円仁（なども住んだことがあるようです。国宝の掛け軸（青不動明王画像）が有名ですが、相阿弥や小堀遠州が作ったと言われる庭がたいへん立派で、外国人で溢れる京都の寺院とは思えぬほど静かな佇まいでした。親鸞聖人が得度をされたのもここで、その時に詠んだのが、

明日ありと思う心のあだ桜 夜半（よわ）に嵐の吹かぬものは

という歌です。この歌についてはまた別の機会にお話しします。その歌碑を見ようと青蓮院を訪ねたのですが、ここで思わぬ出会いが待ち受けていました。

平安時代の天台宗の僧である元三大師の座像があったのです。元三大師は「厄除け大師」として広く信仰を集めていますが、おみくじの発案者と言われ、詠んだ漢詩百首に吉凶を載せた紙がおみくじとして広まったのだそうです。今では多種多様なおみくじがあり、運勢の良い方から、

大吉、吉、中吉、小吉、末吉、凶、大凶

が一般的だそう。気になるのはその割合ですが、吉と凶が各3割くらいで最も多く、大吉はその半数とのことで、それは各神社仏閣に任されており、大吉を多くしているところもあるらしいです。

おみくじの考案者である元三大師（がんざんだいし）座像の前に置かれた六角形の箱から、指示通りに呪文を3回唱えて取り出した棒は64番。それを受付の係りの方に手渡すと、なんとなく申し訳なさそうな表情で木箱から紙を取り出し、二つ折りにし、私は見ていませんよといった顔つきをしつつ、おみくじを手渡してくれました。恐る恐る広げると、なんとこれ（凶）でした。ここには「待人来らず」「失物出がたし」「生死は十に六七死すべし」などと容赦ない言葉が並んでいます。それでも、大凶でないだけまだましと考え直して、おみくじの凶が、鐘の音とともに京の都に消えていけばいいなと思いつきながら、色づき始めた庭園にある鐘を大きく一回突き、青蓮院を後にしました。

私自身は久しぶりの修学旅行で、普段話すことのない生徒の皆さんとコミュニケーションをとることができ、大変充実した4日間でした。ただ、一つだけ気になったことがあります。それは、特に女子に見られる「同調圧力」です。具体的には、KANKENリュックをみんな揃えたい。ほんとは別のものの方がいいと思っている人もいるに違いないのですが、みんながそれにすれば自分も、みたい。こういった迷いながらも周りの意見や行動に合わせてしまうメカニズムを「同調行動」と言います。例えば、カラオケに行かない？と誘われると、本当は行きたくないのに行くことになってしまふ。同調行動そのものは否定されるものではないのですが、自分の意思に反した行動をとり続けると、当然ですがストレスを感じます。

一般には、高校生年代になると「自分は自分、他人は他人」という意識が芽生え始めます。いわゆる「自我の確立」です。なので、みんなと同じ行動をとることに違和感を持ち始めたということは、それは成長の証といえるわけです。そうはいつても、JKに限らず日本社会には同調圧力がはびこっていて、人と違う行動をとると「あの人がちょっと変」などと思われることも多く、中々やっかいです。いずれにしても、他人のことなど気にせず自分らしさを表現するのも有りだし、ストレスを感じないなら周りに合わせても構いません。一つだけ大事にしてほしいのは、自分の好みを他人に強要しないということです。そして、みんなと同じ行動をとり続けられれば、明日も今日と変わらぬ自分だけ。むしろ、ちょっとだけはみ出す勇気を持ちましょう。

今月6日、女優の中山美穂さんが入浴中に急死するという事故がありました。歌手そして女優として大活躍をされていた方で、突然の訃報に胸が痛くなりました。女優としての代表作は、函館と神戸を舞台に一人二役を演じた『Love Letter』という映画です。中山美穂さんは離婚するまではパリで暮らしていて、元夫である辻仁成さんは芥川賞作家です。作家だけに発する言葉は優しく、つい最近のXでは、「父ちゃんからのお願い」と前置きして、「自分が壊れてまで人に優しくするの無し 嫌われたくないからといって、みんなに優しくすると必ず辛くなります」と書いています。そして、「優しい人と思われなくても生きていける。今がきついなら、やめてよし。無理して嫌われなくていいが、無理して好かれなくてもいいのだ」と続け、最後に「とにかく周りは気にせず生きなさい」と締めくくっています。先ほど述べた同調圧力へ対処の仕方です。

結びになりますが、年が明けるとすぐに大学入学共通テストを迎えます。受験する人はのんびり休むことができない年末年始になりますが、4月には新しい場所で満開の桜を見ることになります。楽しいことをイメージしながら、最後の正念場を乗り越えてください。それでは、良いお年をお迎えください。（令和6年12月 全校集会）